平成 31 年度

中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出委託事業

事業実施報告書
概要

令和 2 年 3 月

中央開発株式会社

平成 31 年度 中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出委託事業

事業実施報告書 概要

目次

日系農業者団体位置図
平成 31 年度事業実施カレンダー
数字で見る平成 31 年度事業
事業参加者の声
略語表

【１】事業内容 1
【２】事業実績 3
事業実績一覧 3
1. 日系農業者等の連携強化 4
1.① 日系農業者等連携強化会議 4
(1) 第 1 回日系農業者等連携強化会議 4
(2) 第 2 回日系農業者等連携強化会議 6
(3) PMC（事業運営会） 8
1.② 若手農業者等を対象とした交流会議 9
(1) 第 1 回若手農業者等を対象とした交流会議 9
(2) 第 2 回若手農業者等を対象とした交流会議 10
1.③ 本事業への参加者・団体の掘り起こし 12
1.④ 事業推進委員会 13
(1) 第 1 回事業推進委員会 14
(2) 第 2 回事業推進委員会 15
(3) 第 3 回事業推進委員会 16
(4) ペルーの本事業への参加 18
1.⑤ 参加者・団体間の自立的な組織の設立に向けた検討 23
(1) J-AGRO 23
(2) Nambei no Hana 24
2. 研修・交流事業 25
(1) 研修実施方法 25
(2) 過年度研修生調査 27
2.① 若手農業者等の育成研修（日本への招へい） 29
(1) アグリビジネス研修「有効活用」 29
(2) アグリビジネス研修「農業ツール」 32
(3) 技術研修「土づくり」 36
2.② 日系農業者団体女性部の女性活躍推進研修 39
2.③ 農業・食産業分野に係る専門家派遣による研修（中南米現地） 43
(1) 販売・マーケティング 43
(2) 地域活性化 45
3. 日本の地方企業とのビジネス交流 49
3.① 日本の地方企業とのビジネスマッチング構想の策定 49
3.② 現地でのビジネスマッチング（農業ビジネスセミナー等の開催） 52
(1) 現地でのビジネスマッチング 52
(2) 農業ビジネスセミナー 53
3.③ 日本での連携促進の取組（事業広報活動） 55
(1) 事業広報活動 55
(2) 訪日研修時のビジネスマッチング 56
(3) ビジネスに発展する可能性のある企業 57
(4) ビジネスマッチング成果 57
3.④ 日系農業者・団体に関するデータベース作成 58
【３】総括 61
1. 本年度事業成果 61
2. 今後の展望 64

日系農業者団体位置図

ベネズエラ
ガイアナ
スリナム
仏領ギアナ
コロンビア
エクアドル
ペルー
ブラジル
ボリビア
パラグアイ
アルゼンチン
チリ
ウルグアイ
パラ州
ベレン
ペルナンブコ州
バイーア州
サルバドール
ブラジリア
ミナスジェライス州
ベロオリゾンテ
マットグロッソドスル州
カンポグランデ
サンパウロ州
リオデジャネイロ
サンパウロ
パラナ州
クリチバ
サンタカタリーナ州
フロリアノポリス
リマ
ラパス
サンタクルス
アスンシオン
コルドバ
ブエノスアイレス
ブラジル
サンパウロ州
①イビウナ農協
②モジダスクルーゼス農村組合
③南伯グランデサンパウロ農協
④APPC 農協/サンパウロ州柿生産者組合
⑤南伯ピラールドスル農協
⑥南伯サンミゲールアルカンジョ農協
⑦レジストロ地域農協
⑧カッポンボニート農協
⑨グアタパラ農協
⑩JATAK 農業技術普及交流センター
⑪バストス地域鶏卵生産者協会
⑫弓場農場
ブラジル
パラ州
⑬トメアス農協
⑭トランスアマゾニカ農協
⑮ｻﾝﾀｲｻﾞﾍﾞﾙ･ｻﾝﾄｱﾝﾄﾆｵﾄﾞﾀｳｱ組合
ペルナンブコ州
⑯ノバアリアンサ農協
バイーア州
⑰ジュアゼイロ農協
ミナスジェライス州
⑱スルミナス農協
⑲セラードブラジレイロ農協
⑳サンゴタルド地域協議会
㉑アルトパラナイーバ農協
㉒オネステミネイロ農協
マットグロッソドスル州
㉓バルゼアアレグレ農協
㉔スルマットグロセンセ農協
パラナ州
㉕ウニオンカストレンセ農協
㉖ポンタグロセンセ農協
㉗インテグラーダ農協
㉘南伯ロンドリーナ農協
サンタカタリーナ州
㉙サンジョアキン農協
㉚ラーモス果樹生産者地域連合
ペルー
㊷エスキベル農畜産物生産者協会
㊸ペルー日系人協会カニェテ
ボリビア
㊵コロニアオキナワ農協
㊶サンファン農協
パラグアイ
㉞アマンバイ農協
㉟ラパス農協
㊱ピラポ農協
㊲コルメナアスンセーナ農協
㊳イグアス農協
㊴パラグアイ日系農協中央会
アルゼンチン
㉛ハルディンアメリカ生産者組合
㉜メルコフロール花卉生産者組合
㉝エコフロール花卉農協

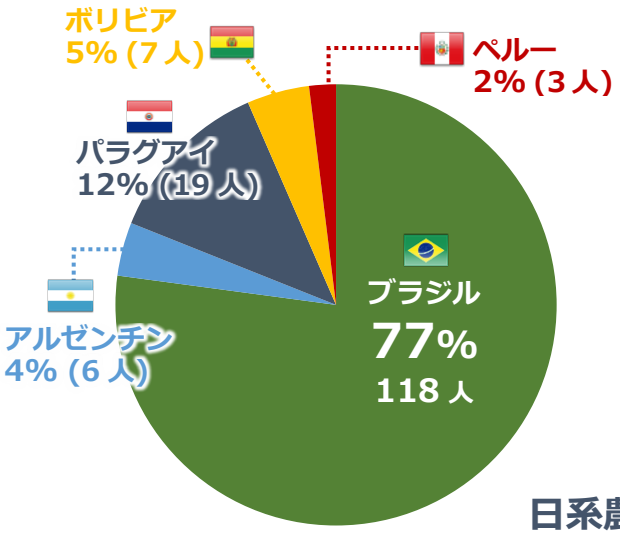
平成 31 年度事業実施カレンダー

2019	実施項目
5 月	●5.24　事業推進委員会（第 1 回） ●(通年) 本事業への参加者・団体の掘り起こし
6 月	●(前期) 日本での連携促進の取組（事業広報活動） ●(通年) 日本の地方企業とのビジネスマッチング構想の策定 ●(通年) 事業参加者・団体間の自立的な組織の設立に向けた検討
7 月	●7.8　若手農業者等を対象とした交流会議（第 1 回） ●7.9　日系農業者等連携強化会議（第 1 回）
8 月	●8.27　事業推進委員会（第 2 回）
9 月	若手農業者等の育成研修（日本への招へい）(1) ●9.22～10.17 アグリビジネス研修「有効活用」
10 月	若手農業者等の育成研修（日本への招へい）(3) ●10.5～10.30 技術研修「土づくり」 若手農業者等の育成研修（日本への招へい）(2) ●10.28～11.23 アグリビジネス研修「農業ツール」

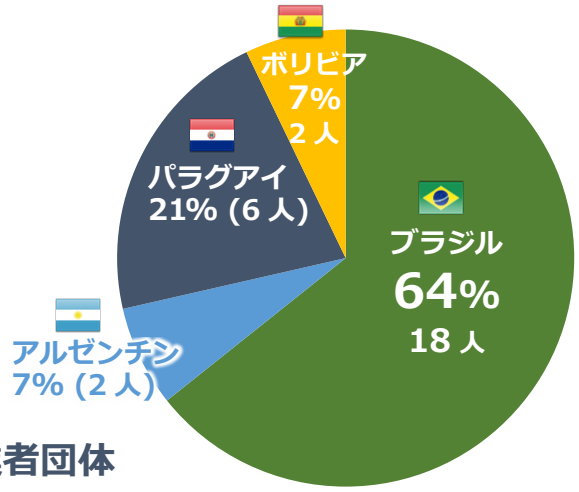
11 月	日系農業者団体女性部の女性活躍推進研修 ●11.15～12.10 農業・食産業分野に係る専門家派遣による研修 （中南米現地）(1) ●11.10～11.14 「販売・マーケティング」
12 月	●(後期) 日系農業者・団体に関するデータベース作成
2020	**実施項目**
1 月	農業・食産業分野に係る専門家派遣による研修 （中南米現地）(2) ●1.19～2.6 「地域活性化」 現地でのビジネスマッチング （農業ビジネスセミナー等の開催） ●1.27～2.6 ●1.30 若手農業者等を対象とした交流会議(第２回) ●1.31 日系農業者等連携強化会議（第２回）
2 月	●2.28（中止）事業推進委員会（第３回）
3 月	●報告書作成

数字で見る平成 31 年度事業

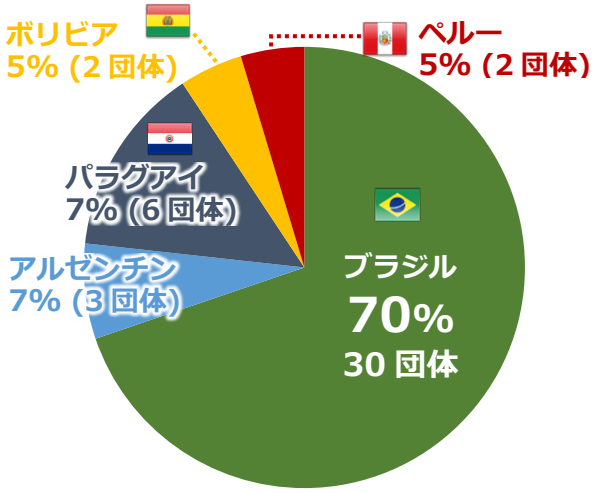
日系農業者等
連携強化会議参加
153 名



訪日研修参加
若手農業者等の育成研修
日系農業者団体女性部の女性活躍推進研修
28 名



日系農業者団体
データベース
43 団体



南米の日系農業者等とのビジネスに関心を示した企業
24 社

分野

鮮度保持包装資材(4)、カビ抑制包装資材、プラズマ殺菌装置、土壌改良剤、植物活性剤、糞尿脱臭剤、ぶどう用園芸用具、土壌計測器、環境モニター機器、シュリンク包装機、食品乾燥機(2)、果物皮むき器、アセロラ加工、日本食品輸出(2)、ゲノム編集、機能性健康食品、そば、カカオ豆、ASIAGAP 支援

事業参加者の声

女性の団結と活力で地域を活性化

南米の移住地を盛り上げている女性たちのアイデアを集めて、手を取り合っていくことで、より大きな力を生み出していくことができると思います。

ブラジル産のそばを日本に輸出

限られた面積で収益を上げていくため、穀物の合間を利用して、短期間で育つそばを栽培し、ブラジル産のそばを日本に販売していきたいです。

南米の農家の手に届く流通網の確立

農家さんから当社商品をぜひ購入したいという声があり、南米の方々に受け入れられることがわかったので、早急に販売体制を構築していきたいです。

略語表

略語	日本語訳	原語正式名称
ACBJ	ブラジル国ラーモス日伯文化協会	Associação Cultural Brasil-Japão (Nucleo Celso Ramos,Frei Rogerio)
ACENIBRA	ブラジル国サンフランシスコバレー文化スポーツ協会	Associação Cultural e Esportiva Nipo-Brasileira do Médio São Francisco
ADESC	ブラジル農協婦人部連合会	Associação Cultural dos Departamentos de Senhoras Cooperativistas
APAE	ペルー国エスキベル農畜産物生産者協会	Asociación de Productores Agropecuarios de Esquivel
APJ	ペルー日系人協会	Asociacion Peruano Japonesa
APPC	ブラジル国 APPC 農協／サンパウロ州柿生産者組合	Cooperativa Agroindustrial APPC / Associação Paulista Produtores de Caqui
APROBARE	ブラジル国バストス地域鶏卵生産者協会	Associação dos Produtores de Ovos de Bastos e Região
Bunkyo	ブラジル日本文化福祉協会（文協）	Sociedade Brasileira de Cultura Japonesa e de Assitência Social
CACB	ブラジル国カッポンボニート農協	Cooperativa Agrícola de Capão Bonito
CAICA	パラグアイ国コルメナアスンセーナ農協	Cooperativa Agro-Industrial Colmena Asuncena
CAICO	ボリビア国コロニアオキナワ農協	Cooperativa Agropecuaria Integral Colonias Okinawa
CAISP	ブラジル国イビウナ農協	Cooperativa Agropecuária de Ibiúna
CAISY	ボリビア国サンフアン農協	Cooperatriva Agropecuaria Integral San Juan de Yapacani
CAJBA	ブラジル国ジュアゼイロ農協	Cooperativa Agrícola de Juazeiro da Bahia
CAMTA	トメアス農協	Cooperativa Agrícola Mista de Tomé-Açu
CAMVA	ブラジル国バルゼアアレグレ農協	Cooperativa Agrícola Mista da Várzea Alegre
CASBSMA	ブラジル国南伯サンミゲールアルカンジョ農協	Cooperativa Agrícola Sul Brasil de São Miguel Arcanjo
CASM	ブラジル国スルミナス農協	Cooperativa Agrícola Sul de Minas
Cetapar	パラグアイ農牧総合試験場	Centro Tecnológico Agropecuario del Paraguay
COAG	ブラジル国グアタパラ農協	Cooperativa Agrícola de Guatapará
COANA	ブラジル国ノバアリアンサ農協	Cooperativa Agrícola Nova Aliança
Coopacer	ブラジル国セラードブラジレイロ農協	Cooperativa de Agronegócios do Cerrado Brasileiro
COOPADAP	ブラジル国アルトパラナイーバ農協	Cooperativa Agropecuária do Alto Paranaiba
COOPARR	ブラジル国レジストロ地域農協	Cooperativa dos Produtores Agrícolas de Registro e Região
COOPATRANS	ブラジル国トランスアマゾニカ農協	Cooperativa Agroindustrial da Transamazônica
Cooperponta	ブラジル国ポンタグロセンセ農協	Cooperativa Agrícola Pontagrossense
Copasul	ブラジル国スルマットグロセンセ農協	Cooperativa Agrícola Sul MatoGrossense
CRSG	ブラジル国サンゴタルド地域協議会	Conselho da Região de São Gotardo
Ecoflor	アルゼンチン国エコフロール花卉農協	Establecimientos Cooperativos Floricolas Ltda
IPTDA-JATAK	ブラジル国 JATAK 農業技術普及交流センター	Instituto de Pesquisa Técnicas e Difusão Agropecuária da JATAK
PMC	事業運営会	Project Management Committee
Mercoflor	アルゼンチン国メルコフロール花卉生産者組合	Cooperativa de Productores de Flores y Plantas Mercoflor ltd
SANJO	ブラジル国サンジョアキン農協	Cooperativa Agrícola de São Joaquim
SINPRIZ	ブラジル国サンタイザベル・サントアントニオドタウア組合	Sindicato dos Produtores Rurais de Santa Izabel do Pará e Santo Antônio do Tauá
SRMC	ブラジル国モジダスクルーゼス農村組合	Sindicato Rural de Mogi das Cruzes
UNICASTRO	ブラジル国ウニオンカストレンセ農協	Cooperativa Agrícola União Castrense Ltda.
UNIFRUTA	ブラジル国ラーモス果樹生産者地域連合	União Regional dos Produtores de Fruta

【１】事業内容

1-1 事業名

平成 31 年度中南米日系農業者等との連携交流・ビジネス創出委託事業

1-2 事業目的

現在、中南米諸国において約 210 万人もの日系人が在住している。近年では、現地の日系社会の中心世代は二世から三世へと移り変わっており、世代交代により日系人のアイデンティティが薄れ、その連帯が低下することによる我が国との交流の希薄化が懸念されている一方、若い世代の日系人からは、日本の先進的産業に関心が寄せられている。

また、特に約 190 万人の日系人が在住しているブラジルは、我が国の食料輸入先として重要な穀物生産大国であり、日本の食料安全保障の観点からもより一層の良好なパートナーシップの構築を図る必要性がある。

このため、我が国との間で移住協定が締結されたブラジル、アルゼンチン、パラグアイ及びボリビアに加え、ブラジルに次ぐ日系人が在住するペルーの日系農業者等との連携の強化を図るとともに、若手向けの研修や交流会議を通じた次世代リーダーとなる日系農業者等の育成、日系農業者等と日本の地方企業とのビジネス創出に向けた取組を行うことにより、日本と中南米の農業・食産業関係者の連携強化や我が国の食産業の中南米進出、農林水産物・食品の輸出促進への貢献を図ることを目的とする。

1-3 事業履行期間

平成 31 年 4 月 25 日から令和 2 年 3 月 13 日まで

1-4 事業内容

1. 日系農業者等の連携強化

① 日系農業者等連携強化会議
② 若手農業者等を対象とした交流会議
③ 本事業への参加者・団体の掘り起こし
④ 事業推進委員会
⑤ 事業参加者・団体間の自立的な組織の設立に向けた検討

2. 研修・交流事業

① 若手農業者等の育成研修（日本への招へい）
② 日系農業者団体女性部の女性活躍推進研修（日本への招へい）
③ 農業・食産業分野に係る専門家派遣による研修（中南米現地）

3. 日本の地方企業とのビジネス交流

① 日本の地方企業とのビジネスマッチング構想の策定
② 現地でのビジネスマッチング（農業ビジネスセミナー等の開催）
③ 日本での連携促進の取組（事業広報活動）
④ 日系農業者・団体に関するデータベース作成

1-5 事業運営基本方針

本事業を運営していく上での基本方針を、本事業の目的及び過年度事業との連続性を考慮し下記の 4 点とした。

(1) 「研修・交流事業」と「日本の地方企業とのビジネス交流」の連携

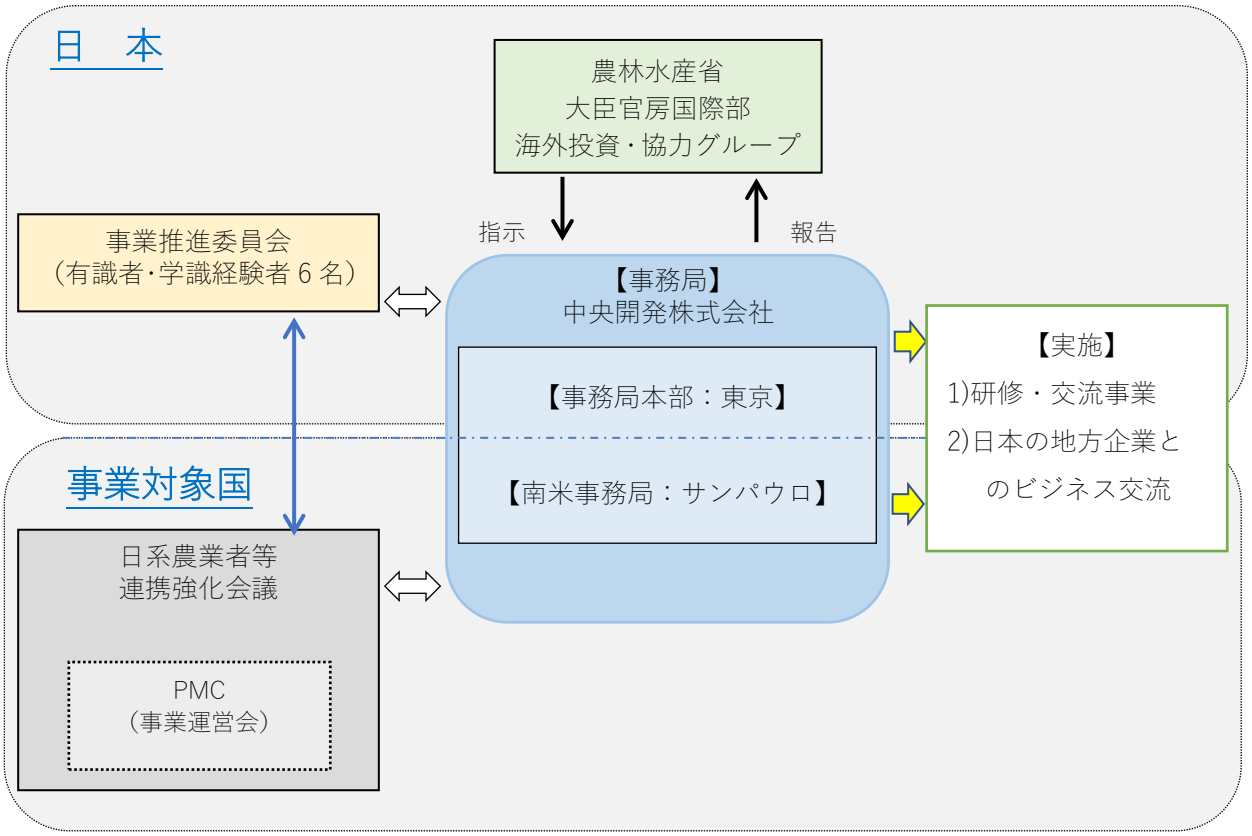
(2) 若手リーダーを積極的に活用した連携強化

(3) 日本・南米現地研修の連携

(4) 農業ビジネスに繋がるパートナー成立

1-6 事業実施体制

事業実施体制は、日本とブラジルの 2 か所に事務局を設置し、日本・南米間及び事業対象国間の意思疎通のスピードアップと円滑な運営を図った。東京に設置する事務局は、事業全体の実施責任部局とし、農林水産省国際部海外投資・協力グループとの連絡・報告窓口とした。業務従事者には、事業対象国の農業者団体との信頼関係を持つ、過年度事業の経験者を配置し、本事業を円滑に運営した。また、ブラジル国サンパウロ市で開催される日系農業者等連携強化会議の円滑な運営を図るため、同会議内に日系農業者団体の代表からなる事業運営会（以下、「PMC（Project Management Committee）」という。）を設置した。



【２】事業実績

事業実績一覧

	実施項目	場所	参加者	期間
1	**日系農業者等の連携強化**			
①	日系農業者等連携強化会議			
	第１回	サンパウロ	82 名	令和元年７月９ 日
	第２回	サンパウロ	71 名	令和２年１月 31 日
②	若手農業者等を対象とした交流会議			
	第１回	サンパウロ	25 名	令和元年７月８ 日
	第２回	サンパウロ	47 名	令和２年１月 30 日
③	本事業への参加者・団体の掘り起こし	事業対象国		通年
④	事業推進委員会			
	第１回	東京	18 名	令和元年５月 24 日
	第２回	東京	12 名	令和元年８月 27 日
	第３回	東京	―	令和２年２月 28 日（中止）
⑤	事業参加者･団体間の自立的な組織の設立に向けた検討	事業対象国		通年
2	**研修・交流事業**			
①	若手農業者等の育成研修（日本への招へい）			
	(1) アグリビジネス研修「有効活用」	日本	8 名	令和元年 ９月 22 日～10 月 17 日
	(2) アグリビジネス研修「農業ツール」	日本	9 名	令和元年 10 月 28 日～11 月 23 日
	(3) 技術研修「土づくり」	日本	3 名	令和元年 10 月５日～10 月 30 日
②	日系農業者団体女性部の女性活躍推進研修	日本	8 名	令和元年 11 月 15 日～12 月 10 日
③	農業・食産業分野に係る専門家派遣による研修（中南米現地）			
	(1) 販売・マーケティング	ブラジル	54 名	令和元年 11 月 10 日～11 月 14 日
	(2) 地域活性化	ブラジル	152 名	令和２年 １月 19 日～２月６日
3	**日本の地方企業とのビジネス交流**			
①	日本の地方企業とのビジネスマッチング構想の策定	日本		通年
②	現地でのビジネスマッチング（農業ビジネスセミナー等の開催）	ブラジル	2 社	令和２年 １月 27 日～２月６日
③	日本での連携促進の取組（事業広報活動）	日本		通年
④	日系農業者・団体に関するデータベース作成	事業対象国		通年

1. 日系農業者等の連携強化

事業対象国の日系農業者等の連携強化を図るための会議、若手農業者等を対象とした交流会議等を開催する。また、本事業への参加者・団体の更なる掘り起こしや自立的な参加者・団体間の連携についての検討を行う。

1.① 日系農業者等連携強化会議

事業対象国の日系農業者等が抱える課題の抽出、課題解決のための意見交換、情報共有、議論を行うため、事業対象国 5 か国の日系農業者等からの出席者により、ブラジルで 2 回の日系農業者等連携強化会議を実施した。

回	日程	場所	参加者
第 1 回	令和元年 7 月 9 日	ブラジル国サンパウロ州サンパウロ市	82 名
第 2 回	令和 2 年 1 月 31 日	ブラジル国サンパウロ州サンパウロ市	71 名

会議開催概要及び内容を以下に示す。議事録や参加者の詳細は別冊の事業実施報告書資料編に記載する。

(1) 第 1 回日系農業者等連携強化会議

1) 基本情報

日程	令和元年 7 月 9 日（金）10:00～17:00
場所	ブラジル国サンパウロ州サンパウロ市 ジャパン・ハウス
参加者	ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ボリビア、ペルーの日系農業者等　計 82 名 農林水産省、在外公館、JICA、農林中金総合研究所等　計 7 名
内容	1) 今年度の事業概要説明 2) 会議出席者との意見交換 3) 第 1 回若手農業者等を対象とした交流会議の報告
言語	日本語・ポルトガル語同時通訳

2) 参加者

ブラジル(64)	コパセントロ農協(1)、グアタパラ農協(1)、JATAK 農業技術普及交流センター(3)、カッポンボニート農協(1)、ロライマ日伯文化協会(1)、スルミナス農協(1)、ラーモス文化協会(1)、南伯グランデサンパウロ農協(1)、ブラジル農協婦人部連合会（8)、レジストロ地域農協(2)、バルゼアアレグレ農協(1)、トメアス農協(1)、モジダスクルーゼス農村組合(3)、イビウナ農村組合(1)、イビウナ農協(2)、南伯サンミゲールアルカンジョ農協(2)、サンミゲールアルカンジョ市役所(1)、APPC 農協(3)、南伯ピラールドスル農協(3)、ジュアゼイロ農協(1)、ウニオンカストレンセ農協(1)、バストス地域鶏卵生産者協会(1)、トランスアマゾニカ農協(1)、山本喜誉司賞選考委員会(1)、アチバイアオルトランジア協会(3)、サンカルロス連邦大学(1)、セラードブラジレイロ農協(2)、スルマットグロセンセ農協(1)、スザノ農村組合(1)、ノバアリアンサ農協(2)、ポンタグロセンセ農協(2)、弓場農場(2)、ブラジル日本文化福祉協会（文協）(2)、ダイズ社(1)、プロミソン日伯文化体育協会(1)、ジュアゼイロ農協(1)、日系ブラジル企業 1 社(3)
アルゼンチン(4)	ハルディンアメリカ生産者組合 (2)、メルコフロール花卉生産者組合(1)、エコフロール花卉農協(1)
パラグアイ(8)	パラグアイ日系農協中央会(2)、全パラグアイ日系団体女子連合会(2)、コルメナアスンセーナ農協 (1)、ピラポ農協(1)、イグアス農協(2)
ボリビア(4)	サンフアン農協 (1)、コロニアオキナワ農協 (3)
ペルー(2)	エスキベル農畜産物生産者協会(1)、ペルー日系人協会カニェテ(1)
関係機関(7)	農林水産省(2)、在ブラジル日本国大使館(1)、在サンパウロ日本国総領事館(1)、JICA ブラジル(2)、農林中金総合研究所(1)

3)　議事要旨

今年度の事業概要説明

- ペルーが新たに事業対象国となり、5か国を対象とする事業となったことを発表した。さらに、新規参加団体として5つの日系農業者団体（ペルー日系人協会カニェテ、スルマットグロセンセ農協、ポンタグロセンセ農協、南伯ピラールドスル農協、アチバイアオルトランジア協会）が組織紹介を行った。加えて日系農業機械メーカーが事業紹介をした。
- 今年度事業ではビジネスの創出をより一層目指して、南米とのビジネスに関心を有する日本企業の発掘や、訪日研修プログラムの中のビジネスマッチングに取り組むことを説明した。
- 日本側での本事業の推進をさらに強化する目的で、事業推進委員会を代表して田中委員に渡伯してもらい、若手会議での講演や連携会議に参加してもらった。

会議出席者からの意見

- 訪日研修
  - ・生産者が参加しやすくするためには特定の解決策を学ぶテーマが望ましい。
  - ・規格外農産物の活用方法（付加価値向上）について学んできてもらいたい。
  - ・日本の農協の生産技術・運営管理について学んでほしい。
- 南米現地研修
  - ・南米・日本間のビジネスに繋げるためには、まず必要な国際ビジネスの手続き・規則について学ぶ必要がある。
  - ・施肥・土壌改善（JICAシニアボランティア、栽培管理（ブラジル農業技師）、塩害対策、マーケティングといったテーマの要望が挙げられた。
  - ・サンゴタルド農協は生産者ブランドを立ち上げ消費者とのチャンネルを確立しており、マーケティングやトレーサビリティの研修先として協力できる。
  - ・サンカルロス連邦大学として生産者が抱えている課題に対して、連携してできることがあれば協力したい。
  - ・南米現地研修のテーマは会議出席者の投票によって、国際ビジネス・貿易、販売・マーケティング、地域活性化・有効活用などをより優先順位高く実施することが決定した。
- 日本・南米間のビジネス
  - ・南米の大半の組織がいまだ日本市場の要求を満たすほどの準備ができていないため、まずは生産技術・生産チェーンの向上を目指し、その後日本市場の要求に応えることができるのではという意見が出された。
  - ・さらに、日本と直接取引を行うのは距離のため難しいが、南米に既に進出している日本企業と日系農業者団体で提携できれば双方にメリットがあるのではという意見が挙がった。

第1回若手農業者等を対象とした交流会議の報告

- ①農業経営、②アグリツーリズム、③トレーサビリティの3つのテーマで意見交換を行った。①では先進的な経営管理方法を取り入れているノバアリアンサ農協への視察提案、②では各地域の特徴を見出すための意見交換・相互交流の必要性、③では生産者での意見交換や政府機関との交渉などの必要性が提起された。
- 継続した意見交換を行うため、若手会議の3つのテーマでオンラインフォーラムを立ち上げることが決定した。さらに、南米現地研修の中でこれらのテーマを扱っていくことへの要望が挙がった。

第 1 回日系農業者等連携強化会議での集合写真

(2) 第 2 回日系農業者等連携強化会議

1) 基本情報

日程	令和 2 年 1 月 31 日（金）9:00～17:00
場所	ブラジル国サンパウロ州サンパウロ市 宮城県人会会館
参加者	ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ボリビア、ペルーの日系農業者等　計 71 名 農林水産省、在外公館、JICA、日本企業等　計 16 名
内容	1) 初参加の団体紹介 2) 今年度事業の結果報告 3) 前日の結果報告（第 2 回若手農業者等を対象とした交流会議、農業ビジネスセミナー） 4) 次年度事業のための意見交換
言語	日本語・ポルトガル語同時通訳

2) 参加者

ブラジル(54)	ロライマ日伯文化協会(1)、スルミナス農協(2)、ブラジル農協婦人部連合会(8)、バルゼアアレグレ農協(2)、トメアス農協(2)、モジダスクルーゼス農村組合(4)、イビウナ農協(2)、イビウナ農村組合(1)、南伯グランデサンパウロ農協(1)、南伯サンミゲールアルカンジョ農協(1)、APPC 農協(4)、ウニオンカストレンセ農協(1)、バストス地域鶏卵生産者協会(1)、トランスアマゾニカ農協(1)、スルマットグロッセンセ農協(1)、ノバアリアンサ農協(1)、ポンタグロセンセ農協(1)、レジストロ日伯文化協会(2)、ラーモス文化協会(1) 、セラードブラジレイロ農協(2)、サンジョアキン農協(2)、サンタイザベル・サントアントニオタウア組合(1)、カッポンボニート農協(1)、グアタパラ農協(2)、サンフランシスコバレー文化スポーツ協会(1)、パラナ日伯文化連合会(1)、OCS オーガニック(1)、JATAK 農業技術普及交流センター(1)、文協 Rural(1)、サンタカタリーナ州日系人協会連盟(1) 、その他ブラジル企業・団体等 3 社(3)
アルゼンチン(2)	ハルディンアメリカ生産者組合 (1)、メルコフロール花卉生産者組合(1)
パラグアイ(11)	パラグアイ日系農協中央会(2)、ラパス農協(1)、ラパス日本人会婦人会(1)、コルメナアスンセーナ農協 (1)、ピラポ農協(2)、イグアス農協(1)、イグアス日本人会(1)、イグアス日本人会婦人会(1)、パラグアイ農牧総合試験場(1)
ボリビア(3)	サンフアン農協 (3)
ペルー(1)	ペルー日系人協会カニェテ(1)
関係機関(16)	農林水産省(3)、在ブラジル日本国大使館(1)、在サンパウロ日本国総領事館(1)、JICA ブラジル(1)、在アルゼンチン日本国大使館(1)、在パラグアイ日本国大使館(1)、在ペルー日本国大使館(1)、日本企業・団体等 6 社(7)